



## 【 キャンプ 】

T-net企画 代表  
丸山告

「連續した時間を共有できる」

キャンプの旨味を聞かれた時の、僕の一つの答えです。

授業の休み時間とか、限られた時間ではありません。

寝食を共にして3日間くらい人と過ごせるのは貴重な時間です。

マルコ3章。イエス様は12人を選んで、弟子たちをそばに置きました。

この12人は、イエス様といっしょに移動をして、いっしょに神さまのことを伝えました。知り合いの家で泊まったという記述もありますが、野宿もあったでしょう。メッセージも山の上でだったり湖の上からだったり、なかなかのアウトドア宣教です。

イエス様はかなりのキャンプ好き。2泊3日くらいあれば十分有意義で楽しい思い出ができますが、イエス様キャンプはおよそ3年くらい。1000泊くらいの超長期型キャンプです。

こんなにも長い期間、弟子たちはイエス様のメッセージを最前線で聞き、その言葉の意味を一番最初に解説してもらい、またよく怒られました。

しかも、このイエス様キャンプは独特です。

弟子たちは自分たちが参加したくて申し込んだのではないですから。

イエス様は弟子たちを自分からスカウトしているので、招待制の特別なキャンプです。

こんなに特別感があるイベントなのに、その人選の基準は謎です。

選ばれた人たちは基本田舎もので人間的にも問題あり。

でもイエス様は夜通し祈って決めたというので、こだわりがあってこの12人なのでしょう。

いずれにしてもキャンプをしていたイエス様とこの弟子たち。言い換えると、イエス様のことばがずっと語られ続けました。弟子たちは聞き続けました。

そして、意味を理解しなかったり失敗も多い彼らでしたが、彼らはやがてイエス様の言葉を中心に生きるようになります。

どのキャンプ場であれ、対象がどの世代であれ、みことばが語られるキャンプならば、それは弟子たちのようにイエス様の言葉を知る大チャンスです。

それはイエス様そのものを体験する機会とも言えます。

キャンプの申込書はイエス様からの招き。

参加、の一択ですね。

<VPMへぜひ参加ください>

VPM準備委員会 山名高広

VPMの申し込みはこち



「祈ることから始めよう！」hi-b.a.のVisionが発表されてまもなく、

hi-b.a.とOB会と支援会の代表者会議でそう話し合いました。

そして始まったのがVisionのための祈とう会、

VPM(Vision Prayer Meeting)です。

金曜日の夜は、たしかに疲れているでしょう。やりたいこともあるでしょう。

でも冷静に考えてみてください。hi-b.a.を支え、「すべての高校生に福音を届ける」ためには、何よりも時間を取り分けて、祈ることが必要でしょう。毎月、励まされるメッセージが語られています。様々な世代の方と祈り合うときはステキな時間です。ぜひ一緒に神様の御業に感動しながら歩みましょう！

毎月第2金曜日、20時～21時(オンライン)で待っています。



## 「キャンプの恵み」

児玉 武志

この原稿を書いているのは7月の終わり。今年も夏の様々なキャンプに向けての準備が進められています。私は高校3年間、夏hi-b.a.のキャンプに参加していました。いろいろな思い出があります。オプションプログラムでソフトボールがあり、そこに参加しました。私は1打席目で大きな打球をレフト方向にかっ飛ばすことができました。回ってきた2打席目。みんなは盛り上げようと「かっ飛ばすぞ、みんなレフトに集まれ」と声をかけ合ってくれていました。しかし、私は何を思ったのか…。わざと無人のライト方向へ向けてかっ飛ばしました。あの時の全体が引いてく空気が忘れられません。その後は気まずすぎて、まったく楽しめませんでした。

そんな自分だったので(?)、うまくキャンプの雰囲気に乗り切れず、いつも「次、どうしよう」と頭の中で考えて、ずっと緊張していたように思います。同時に、きっと、うまくは返せませんでしたが、温かく声をかけてくれた人たちに感謝をしていました。

キャンプで強烈に覚えていることが2つあります。ひとつは、ある集会で私が証しをすることになっていた時のこと。私はその奉仕について恐れていたのですが、ある先輩たちが励ましてくれました。「がんばれ、大丈夫」という励ましではなく、「これは主の訓練だ。」という励ました。心の中では「え~」と思いながらでしたが、最後は「ですから、弱った手と衰えた膝をまっすぐにしなさい」(ヘブル12:12)を引用されて、笑顔で送り出されました。

もうひとつは、キャンプファイヤーである方が「神様、私はあなたのものです!」と叫んだ言葉です。私は本当に衝撃を受けました。なぜ、そんなことが言ってしまうのか、あの時は全く分かりませんでしたが、あの神様と向きあった献身のことばを忘れる事はありませんでした。いずれの記憶も、その人の「信仰」に触れた時だったように思います。

奉仕をする機会もある中で、私の心の中にあるものが外に現れることを肝に銘じて、神様とともに仕えていきたいと思います。

そして、あのキャンプ場で今年も大切な働きがなされていることを覚えて祈りたいと思います。

## 【お知らせ】

## &lt;公式SNS&gt;



Facebook



Instagram

## &lt;銀行振込&gt;

ゆうちょ銀行 振替口座 00150-7-36441

ゆうちょ銀行(他の銀行からお振込の場合)

預金種目：当座

店名：019店 番号：0036441

## &lt;クレジット&gt;

hi-b.a.の公式ホームページより  
献金や会費のお支払いができます。

(事務所)

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-22-16 hi-b.a.センター内

TEL 03-3409-5072 fax 03-3409-5076

(郵便振替) hi-b.a.卒業生会 東京00160-3-36970

## ■編集後記

いつもOB会のためにお祈り感謝申し上げます。

夏号は「キャンプ」をテーマとさせていただきました。  
OBの皆様と「キャンプ」の恵みを分かち合い、また  
これからのお手伝いを共におぼえ祈るために  
本誌が用いられることを願います。実行委員

山本愛実(委員長) / 小渕友貴(集会)

高山響希(集会) / 永嶋満喜(集会)

鈴木和人(会計) / 加統和香菜(広報)

